

平成20年3月3日

淀川水系流域委員会 様

三重県伊賀市

西山甲平

川上ダム建設促進についての意見

私たちは木津川上流に位置し、古来より洪水時には岩倉峡によって堰上げられるため、常に浸水被害を被ってまいりました。明治以来災害のその都度狭窄部である岩倉峡の開削を要望し続けてまいりました。

しかし、昭和42年木津川上流が直轄区域に編入され、旧建設省が木津川下流の堤防が脆弱であるため開削せずその対策として、上野遊水地+川上ダム+河床掘削のいわゆる「三点セット」で上野地区における治水対策をすとの方針（約束）を示されました。

私たちは、なぜ下流の犠牲にならないのかと反対し、隣人はもとより家族にいたるまで賛否について争いましたが、度重なる浸水被害がなくなるのであればとの思いから、その約束を信じ美田を遊水地にすることに同意したのであります。また、川上ダムによって水没する予定の川上地区住民においては、下流のため先祖の土地から地区民全員が移転という苦渋の決断をしました。そのために先祖の墓地を涙しながら掘り起こすという苦痛に耐え、既に移転・離村式も終えております。

川上ダムに代わる治水対策（代替案）については、既に遊水地掘削案・新遊水地案・水田活用案・ため池活用案等々十二分に検討され、何れの案も地権者の同意は得られる見込みもなく、また、莫大な費用が必要であり「三点セット」に勝るものはありません。

また、大阪市が青蓮寺ダムに持つ水利権を伊賀市に譲渡するような議論が行われ

ているが、青蓮寺用水幹線水路はいろんな状況から活用できないことは明らかであります。

全国各地では、全く予期せぬ降雨による大災害が頻発しています。伊賀市においてもこのような災害がいつ起きるか分かりません。一刻も早く木津川上流地域で生活する私たちの生命・財産を守っていただくため、上野遊水地の完成及び川上ダムの早期着工・完成を願っております。